

平成 23 年度 芸術文化事業の状況 (平成 23 年 10 月 3 日から平成 24 年 3 月 31 日期)

- ・ギャラリー、視聴覚ホール(定員 198 名)、交流アトリウム、文化活動室、会議室、和室、日本自分史センター及び文化情報プラザは文化フォーラム春日井・文芸館
- ・市民会館(定員 1,151 名)

1 自主文化事業

(1) 文芸系事業

事業名称	日時・場所	事業内容	入場料等
日本自分史センター 運営	10/3～3/31 9:00～19:00 日本自分史センター 来訪者 135 人	全国から寄贈される自分史図書による自分史図書館で、地下書庫にも多数保存。地域別、年代別など、自分史図書のデータベースづくりを進めるとともに、貸出にも対応。 蔵書数 / 7,288 タイトル 10,062 冊 寄贈受付 / 220 タイトル 274 冊	利用無料
自分史相談	毎週火・金曜日 13:00～17:00 日本自分史センター 相談件数 95 件	自分史づくりに関する各種相談を実施。 相談員/安藤紀夫、芳賀倫子 相談日数/47 日	相談無料
自分史フェスタ	2/12(日) 13:30～16:00 市民会館 入場者 772 人	「食」の風景～紺野美沙子が読む ごちそうさまのドラマ～と題し、 訪れた方に自分史事業の周知を図り、春日井市の文化事業の一つとして自分史人口の拡大をめざし実施。 第 1 部では全国公募した掌編自分史の作品集から選りすぐりの 4 編を女優の紺野美沙子さんがしっとり爽やかに朗読、またその作品の思い出を語った。 第 2 部では紺野美沙子さん書き下ろしの「食の風景」をご自身で朗読、また地域の食文化をリードされているお店のオーナーさんも出演。 司会/原 光隆 (東海ラジオアナウンサー) ゲスト(掌編自分史作者)/ 戸澤三二子(春日井市)、 前原有紀子(春日井市)、 菱田木綿(大阪府)、 小山克己(春日井市)、	入場無料

		伊佐治素美(カフェ百時オーナー) 朗読ほか/女優 紺野美沙子 朗読伴奏/ 南悦子(ヴァイオリン)、 ささはらなおみ(ピアノ)	
【関連講座】 エッセイ講座	3/11(日) 14:00~16:00 文化活動室 受講者 27人	次年度開催の講座のPRとして開催。 講師/芳賀倫子 (日本自分史センター相談員)	受講料/無料
【関連企画】 自分史入門講座	3/16(金) 10:00~12:00 文化活動室 受講者 17人	次年度開催の講座のPRとして開催。 講師/加藤迪男 (自分史スーパーバイザー)	受講料/無料
公募自分史	応募期間 7/1(金)~ 9/30(金) 発刊 2/1(水)	テーマ:「食」の風景~私たちは、何を 食べて生きてきたのか~ テーマを設け、全国から作品を募集。 選考を経た秀逸作40編を一冊の書籍 に収録。 応募数 241 編 販売数 192 冊	応募無料 作品集 1,000 円
【関連企画】 掌編自分史関連展示	2/4(土)~ 2/12(日) 交流アトリウム	掌編自分史作品の中から、収録作品 にちなんだ食品サンプルと掌編自分史 の拡大版を展示し、作品集及び自分 史フェスタの周知を図った。	
自分史講座		自分史を書くために、文章作りの基本、 原稿用紙の使い方等から、自分史づく りのポイントを習得する講座。	
「脱・我流の文章術」	1/19(木)~ 3/22(木) 19:00~20:30 文化活動室 受講者 17人	全10回講座。自分史色を薄め、あらゆる ジャンルの文章執筆を対象とし、タイ トルを「脱・我流」としたことにより、 豊かな顔ぶれが集まり、少なからず自 分史事業の若返りを図った。 講師/安藤紀夫 (日本自分史センター相談員)	受講料 4,000 円

(2) 美術系事業

事業名称	日時・場所	事業内容	入場料等
平成 23 年度市町村立美術館活性化事業 世田谷美術館所蔵によるアンリ・ルソーと素朴な画家たち～いきることえがくこと～ 助成：(財)地域創造	1/21(土)～ 3/18(日) 9:30～17:00 (金曜日のみ 9:30～20:00) ギャラリー 入場者 4,390 人	正規の美術教育を受けず、描きたいという心の衝動に従って創造してきた、「素朴派」絵画 45 点を展示。 アンリ・ルソー 4 点、フランスの巨匠ボーシャン、山下清、バスキアなど良質の作品が並び、人間の創造性や深い精神性が感じられると同時に、「親しみやすい」「励まされた」等、好評であった。 北海道・千葉・岡山と回る全国巡回展に挑む意欲的な取組であり、また、ホテルプラザ勝川の「絵画をモチーフにしたランチ」や当財団職員制作の「アニメーション」など、さまざまな市民志向型のプログラムも話題となった。	一般 500 円
【関連企画】 オープニング記念講演	1/22(日) 14:00～15:30 視聴覚ホール 受講者 91 人	本展アドバイザーによる講演会。 素朴派の魅力と概要、作家のエピソード等をスライドに合わせて分かりやすく説明。 当財団が現代美術を扱うことから、近代以降の日本でルソーに影響された画家やデザイナーについても触れられ、参加者にとっては同時代美術にも関心を深めていただくことができた。 講師/遠藤望 (世田谷美術館企画担当課長)	入場無料
【関連企画】 芸術講座 聖なる心の画家たちとそれを見つめた眼差し		豊富な視覚資料を使った講演会や良質の映画を通し、展覧会をさまざまな角度から深める。各講座終了後、じっくりと展覧会を見直す方も多かった。	
①宿命の画天使－山下清物語－	1/28(土) 14:00～16:00 視聴覚ホール 受講者 48 人	①山下清の知られざる生い立ち、現代からみて山下清らの作品群がどのような魅力を持っているか等を、幅広い検証によって実証・解説。受講者は、山下清とその仲間たちの表現力・発想力に触れ、新たな視点を獲得できた様子だった。 講師/三頭谷鷹史	受講料 900 円 通し券 2,500 円

<p>②映画「セラフィーヌの庭」</p>	<p>2/4(土) ① 10:00 ~ 12:10 ② 14:00 ~ 16:10 視聴覚ホール</p> <p>受講者 ① 79人②86人</p>	<p>(名古屋造形大学教授)</p> <p>②映画ファンと絵画ファンそれぞれの興味をきっかけに展覧会・映画を鑑賞して頂こうと、素朴派の代表的作家セラフィーヌの生涯を描いた映画を上演。名女優の演技が光る、セザンヌ賞(フランスのアカデミー賞)主要5部門を受賞した上質の映画で好評であった。</p>	<p>受講料 900円 通し券 2,500円</p>
<p>③パ리에咲いた友情と芸術ールソーとピカソと仲間たち</p>	<p>2/18(土) 14:00~16:00 視聴覚ホール</p> <p>受講者 93人</p>	<p>③芸術講座シリーズで人気の江本菜穂子氏が、アンリ・ルソーの生涯と作品をピカソらとの交友関係を織り交ぜながら、充実した映像資料を遣ってわかりやすく解説。ルソーとその背景への理解が深まる密度の濃い講演であった。</p> <p>講師/江本菜穂子 (名古屋造形大学教授)</p>	<p>受講料 900円 通し券 2,500円</p>
<p>【関連企画】 えんぴつで模写!</p>		<p>素朴派作品に見られる独特の表現に注目し、その特徴を捉えようと、ギャラリーで本物の作品を前に模写講座を行った。</p>	
<p>①高校生以上</p>	<p>3/3(土) 17:30~20:00 ギャラリー</p> <p>受講者 16人</p>	<p>「鑑賞」ではなく「模写」という視点から作品を観察することで、それぞれの作品の特色を掘り下げることができた。より深く、創造の楽しさや観る喜びを再発見する人が多く、心に残る時間となった。</p> <p>講師/渡辺直彦 (名古屋造形大学准教授)</p>	<p>参加費 500円</p>
<p>②小中学生</p>	<p>3/10(土) 17:30~20:00 ギャラリー</p> <p>受講者 16人</p>	<p>意欲的な子どもは、大作の模写に臆さず挑戦し、色彩に捉われない独自の個性を見せていた。模写を通して多彩な素朴派の魅力を発見し、描く楽しさを体感。</p> <p>講師/渡辺直彦 (名古屋造形大学准教授)</p>	<p>参加費 500円</p>
<p>【関連企画】 世田谷美術館交流プログラム</p>		<p>ボランティア人材を育むため世田谷美術館ボランティアとの交流を通じ、実践的な活動を知る。本展の特徴の一つとして高く評価された。</p>	
<p>ボランティア交流会</p>	<p>3/17(土) 9:30~11:30 文化活動室</p>	<p>先進的で自由な活動で知られる世田谷美術館の東谷千恵子氏(学芸員)とボランティアメンバーが春</p>	<p>無 料</p>

	<p>参加者/ 世田谷美術館 鑑賞リーダー 40人 アリスの会等 春日井のボラ ンティア 14人</p>	<p>日井市の文化系ボランティア関係者と交流。世田谷美術館の活気あるボランティア活動を目のあたりにして、自身の関わり方に刺激を受けるとともに、緩やかなルールで自主的に経験や感動を伝えるあり方に触れたことは、大きな収穫であった。</p>	
<p>世田谷美術館からやってきました！ 鑑賞リーダーと一緒に遊んじゃおう！</p>	<p>3/17(土) 13:00～16:00 ギャラリー 参加者 100人</p>	<p>世田谷美術館の人気事業である鑑賞リーダーによる100円ワークショップ(カンバッジづくり、動くルソー人形づくり、モザイクマグネット)、鑑賞ガイド。 ワークショップは大人気で、これを目当てに訪れる親子連れも多く、巡回展4会場中最多の参加者を記録。また、子どもだけではなく大人も本気になって工作していた。 併せて行われた会話型の展示解説では、鑑賞リーダーが積極的に声かけをし、それぞれの得意分野で活動を繰り広げていた。</p> <p>ボランティア/ 世田谷美術館鑑賞リーダー40人</p>	<p>ワーク ショップ 100円 鑑賞 ガイド 無料</p>
<p>【関連企画】 ギャラリートーク</p>	<p>①2/25(土) ②2/29(水) ③3/7(水) ギャラリー ①27人 ②18人 ③16人</p>	<p>来場者に気軽に作品について知っていただき、同時に職員が直接鑑賞者の声を聞き勉強の機会とするため、作品解説会を開催。 幅広い年齢層が三々五々集まり、質問や笑い声が出るなど、親しみやすい雰囲気で行われた。</p>	<p>無 料</p>
<p>交流アトリウム空間 創出プロジェクト Shift Cube ①Vol.15 柿栖早紀展 ②Vol.16 吉田ルシア展</p>	<p>開催期間 ①9/6(火) ～10/10(月・祝) ②10/22(土) ～11/27(日) 9:00～20:00 交流アトリウム</p>	<p>地域の大学と連携し、交流アトリウムに設置された可動式展示スペース Shift Cube で行う常設展示事業。 さまざまな現代美術を文化フォーラム春日井のエントランス空間に展示し、身近な鑑賞の機会を設けるとともに優れた地域の芸術家を紹介している。</p> <p>出品者/柿栖早紀(油画)、 吉田ルシア(版画)</p>	<p>観覧無料</p>

(3) 舞台系事業

事業名称	日時・場所	事業内容	入場料等
ゲゲゲの女房	10/22(土) 14:00～16:35 市民会館 入場者 421 人	漫画家・水木しげるの妻を主人公とした物語。ドラマ化、映画化と続き、舞台化となった講演。舞台には妖怪たちも登場し、ぬりかべがスクリーンになる等、工夫が凝らされた演出となった。集客には苦勞したが、感動的な内容に、観客の満足度は非常に高いものとなった。 出演/水野美紀、渡辺徹、梅垣義明、篠田光亮、大和田獏ほか	S 5,000 円 A 4,000 円
日本舞踊公演 弧の会「コノカイズム」 助成：(財)地域創造	11/13(日) 14:00～16:00 市民会館	(財)地域創造の、平成 23 年度地域の文化・芸術活動支援事業で、下関、雲南との 3 館連携事業として採択された。 公演は、日本舞踊の概念を覆すスピードと躍動感溢れる舞踊を披露し、観客から万雷の拍手が送られた。 出演/弧の会	S 4,000 円 A 3,000 円
【関連企画】 夏休みこども体験 「日本舞踊を踊ってみよう！」	8/26(金) 10:30～12:00 交流アトリウム 参加者 23 人	夏休みに、こども向けの日本舞踊ワークショップを行った。浴衣姿のこどもたちが、最後に「元禄花見踊」を踊った。 講師/西川大樹、猿若裕貴、若柳里次朗	参加料 500 円
【関連企画】 レクチャー&デモン ストレーション	10/9(日) 19:00～20:00 交流アトリウム 参加者 70 人	公演の前に、一般対象のレクチャー&デモンストレーションを行った。講師三人が「青海波」を同時に踊ることで、各流派の違いをわかりやすく説明した。 講師/市山松扇、猿若裕貴、花柳榮輔	入場無料
上妻宏光 藤原道山 Concert “和心伝心”	3/10(土) 18:00～20:00 市民会館 入場者 816 人	邦楽器界を牽引する上妻宏光と藤原道山。初の共演によるコンサートは話題を集めた。古典から現代曲まで多彩な演奏内容に、幅広い年代の来場者が公演を楽しんだ。 出演/上妻宏光、藤原道山	一般 4,000 円

<p>春日井まつり前夜祭 稲垣潤一 アコースティックラ イブ 2011</p> <p>主催：春日井まつり 実行委員会、春日井 市 特別協賛：大垣共立 銀行 ※春日井まつり実行 委員会より受託</p>	<p>10/14（金） 18:30～20:30 市民会館</p> <p>入場者 890 人</p>	<p>春日井まつり実行委員会から制 作・運營業務を請け負っている「春 日井まつり前夜祭」。今年はデビ ュー30周年記念となる稲垣潤一の コンサートを行った。ヒット曲満 載の大人の魅力あふれるステー ジに、観客は酔いしれた。</p> <p>出演/稲垣潤一</p>	<p>一般 5,000 円</p>
<p>かすがい人形劇フェ スティバル 2011</p> <p>主催：愛知県人形劇協 会春日井会場実行委 員会 共催：公益財団法人か すがい市民文化財団</p>	<p>12/11(日) ①10:30～12:00 ②14:00～ 視聴覚ホール</p> <p>入場者 579 人</p>	<p>毎年恒例となっている、春日井市 内のアマチュア人形劇団と、プロ の人形劇団の講演。14 回目とな る今年は、3 劇団が新たに加わ り、充実した内容となった。実行 委員会側の積極的な広報活動に より、過去最高の集客となり、好 評のうちに終了した。</p> <p>出演/ 【プロ劇団】人形劇団パン、人形 劇団むすび座 【アマチュア劇団】人形劇団もも んが、人形劇団とんとんとん、人 形劇団やまんば、人形劇団じゃん けんぽん、形劇団かんらん、人形 劇団よろずや〇</p>	<p>当日券 おとな 1,000 円 こども 500 円</p> <p>一日券 おとな 1,500 円 こども 700 円</p>
<p>【関連企画】 つくって遊ぼう コーナー</p>	<p>12/11(日) 12:00～13:30 交流アトリウム</p> <p>参加者 100 人</p>	<p>紙人形など、楽しい工作作りを行 った。</p> <p>出演/ さくらぶんこ、くれよんの会</p>	<p>無料</p>
<p>第 19 回春日井市高 等学校吹奏楽フェス ティバル</p> <p>主催：春日井市吹奏楽 協議会 共催：公益財団法人か すがい市民文化財団</p>	<p>12/18(日) 14:00～16:00 市民会館</p> <p>入場者 778 人</p>	<p>春日井市内 7 つの高校の吹奏楽 部が一堂に会する演奏会。 生徒 14 名からなる実行委員会を 対象に制作セミナーを開催し、普 段の部活動では知り得ない舞台 制作のレクチャーを行った。ま た、本番で行われる 2 分間 CM と アンコールの構成演出を生徒と ともに行った。 このアンコールは「東北支援リ レー演奏」として、観客を巻き込 んだ合唱となった。</p> <p>出演/春日井高等学校、春日井西</p>	<p>入場無料</p>

		高等学校、春日井東高等学校、春日井南高等学校、春日井商業高等学校、春日丘高等学校、高蔵寺高等学校	
<p>とっておきのクリスマス</p> <p>主催：春日井児童合唱団</p> <p>制作協力・共催：公益財団法人かすがい市民文化財団</p>	<p>12/18(日)</p> <p>17:30～19:00</p> <p>交流アトリウム</p> <p>入場者 330人</p>	<p>毎年恒例の、春日井児童合唱団のクリスマスコンサート。ジュニアとシニアの子どもたち合わせて約70人が、アトリウムでクリスマスソングを歌った。多くの市民が鑑賞し、クリスマスの雰囲気を楽しんだ。</p> <p>出演/春日井児童合唱団</p>	入場無料
<p>第28回新春民謡のつどい</p> <p>主催：春日井民謡のつどい実行委員会</p> <p>共催：公益財団法人かすがい市民文化財団</p>	<p>1/9(月・祝)</p> <p>12:30～15:30</p> <p>市民会館</p> <p>入場者 700人</p>	<p>春日井市在住の民謡団体(24団体)による毎年恒例の合同公演。舞台業者に委託することなく、出演者の協力者らが照明や音響を自ら操作し、年を追うごとに段取り良くスムーズに運営されるようになってきた。新年にふさわしい陽気で明るい民謡に来場者も笑顔に包まれていた。</p> <p>出演/豊勝会、豊愛会、豊成会、豊味会、豊味香会、豊味静会、豊淑豊会、豊味信会、やちよ会、豊成敏会、豊勝葉会、豊勝善会、ちひろ会、寿みれ会、ことぶき会、豊勝女会、豊鼓美会、坂下民踊保存会、豊香方会、ネオポリス民踊会、豊香笑会、豊紀美会、梅雅香会、豊道元会(全24団体)</p> <p>林豊司紀、村山豊勝善(太鼓)</p>	入場無料
<p>平成23年度春日井市優秀映画鑑賞推進事業</p> <p>名作シネマ鑑賞会</p> <p>主催：文化庁、東京国立近代美術館フィルムセンター</p> <p>協力：株式会社オーエムシー</p>	<p>3/6(火)～3/8(木)</p> <p>①10:00～</p> <p>②13:00～</p> <p>③15:00～</p> <p>(1日3回上映)</p> <p>市民会館</p> <p>総入場者 899人</p>	<p>毎年開催している昭和映画の上映会。文化庁が、広く国民に映画鑑賞の機会を提供するため、所蔵する名作映画フィルムを無料で貸出しするもの。今年は植木等や森繁久彌など、日本を代表する喜劇王たちによるコメディ映画を上映。2年前のコメディ映画特集(東部市民センター)では集客率が低かったが、今年は例年並みとなった。今回初めて来場者にお弁当とお菓子の販売を行い、好評をいただいた。</p> <p>上映作品/「ニッポン無責任時代」</p>	<p>一回券 500円</p> <p>一日券 1,200円</p> <p>回数券 1,600円</p>

			「本日休診」「駅前旅館」「喜劇・女は男のふるさとヨ」	
かすがい芸術劇場	第 72 回 松永貴志デビュー10周年記念ピアノソロコンサート	10/10(月・祝) 14:00~16:00 視聴覚ホール 入場者 194 人	名門「ブルーノート」にてレーベル史上最年少リーダー録音の記録を樹立し、ワールドワイドな活躍をしてきたピアニスト松永貴志。そんな彼のデビュー10周年を記念したソロコンサートの一環。世界レベルの演奏を間近で楽しめるプレミアムなコンサートとなった。 出演/松永貴志	一般 2,500 円
	第 73 回 サエラ ノスタルジック	12/17(土) 14:00~16:00 視聴覚ホール 入場者 130 人	50代にしてデビューしたアーティスト、サエラ。美しく澄んだ歌声で、オリジナル曲やポップス、民謡を歌った。春日井在住の熱心なサエラファンが公演を応援し、温かな雰囲気のコサートとなった。 出演/サエラ	一般 2,500 円
	第 74 回 公共ホールダンス活性化支援事業森下真樹「これって、ダンスなの？」助成:財団法人地域創造	2/26(日) 公演 視聴覚ホール・交流アトリウム 総入場者 80 人	地域創造の助成による、コンテンポラリー・ダンス公演。春日井市各地をめぐり作成した「春日井うずうず音頭」をインターネットで公開。また、小・中学校の先生方対象のワークショップや、小学校でのアウトリーチも行った。一般市民参加のワークショップも行い、市民が本番の公演に登場した。最後はアトリウムに、大きなダンスの輪が出来上がった。 出演者/森下真樹、笠井晴子、山崎麻衣子、春日井うずうずダンサーズ	一般 2,000 円
	【関連事業】 学校の先生向けWS	1/17(火)~ 参加者 32 人	市内の小中学校の先生が集まり、授業に活かせるダンスのワークショップを体験した。 講師/森下真樹	
	【関連事業】 小学生向けのアウトリーチWS	2/22(火), 23(水) 高森台小学校 5年1・2組、 6年1・2組 参加者 114 人	ダンス活性化支援事業における地域交流プログラムの一環。5年生、6年生の1クラスずつ、ダンスの授業を行った。 講師/森下真樹	

	【関連事業】 一般市民対象 WS	2/21(火)～ 25(土) 参加者 12 人	ダンス活性化支援事業における地域交流プログラムの一環。公演に出演するために、一般公募の市民（10歳～70歳、命名「春日井うずうずダンサーズ」）が集まり、作品創りを行った。 講師／森下真樹	
かすがい日曜シネマ	バーレスク	11/20(日) ①10:30～ ②14:00～ 1日2回上映 視聴覚ホール 入場者 261人	鑑賞する人が、舞台芸術や音楽、アーティストやその国の文化に対する知識や造詣を深めていただくことを目的とし、選定している映画シリーズ。上映の前には職員による15分間のミニ・トークを行い、映画に対する理解を深めていただく試みを開催。このシリーズを楽しみにしている、という常連も多く、根強いファンを獲得している。	一般 1,100円 ペア券 1,900円 通し券 2,500円
	ノーウェアボーイ ひとりぼっちのあいっ	1/29(日)【完売】 ①10:30～ ②14:00～ 1日2回上映 視聴覚ホール 入場者 269人		
	ハーモニー 心をつなぐ歌	3/25(日)【完売】 ①10:30～ ②14:00～ ③17:00(追加) 視聴覚ホール 入場者 311人		
昼コン&夜コン	10/28(金) 11/12(土) 12/2(金) 交流アトリウム 総入場者 523人	お喋りを交えた気軽に聴ける無料コンサート。クラシック音楽を中心に開催し、ジャズやポップス、和楽器での演奏も取り入れた。出演者は、主に中部地区で活躍する若手演奏家を招聘。毎回200名近くのお客様にお越しいただいた。 出演／安藤よしの(フルート)、吉積光二(ホルン)、野田淳子(ピアノ)、加藤純子(語り)、中山尚子(絵)、他	入場無料	
アトリウム音楽祭	「冬」 12/23(金・祝) 8団体 「春」	年4回、文化フォーラム春日井・交流アトリウムで行っている。市民参加型の音楽発表会。市内外で活動しているアマチュア音楽団体が、日頃の練習成果を発表す	入場無料 運営協力費 5,000円/団体	

	<p>3/17(土)・18(日) 11 団体</p> <p>出演団体 19 団体</p> <p>総入場者 2,750 人</p>	<p>る。昨年までは「アトの祭り」という事業名だったが、事業内容が名前から分かりやすいように「アトリウム音楽祭」に変更した。昨年と比べ総出演団体が4団体減ったが、総入場者数は75名増えており、集客率はアップした。</p>	
<p>舞台制作セミナー 音響初級編</p>	<p>①3/2(金) 19:00～21:00 視聴覚ホール</p> <p>②3/9(金) 19:00～21:00 視聴覚ホール</p> <p>参加者 ①19人 ②18人</p>	<p>財団の技術職員(音響専門)が講師となり、第1回目は主に音の仕組みとマイクの種類と特性などの講義を行った。第2回目は、マイク、ミキサー、アンプ、スピーカーを用いて、技術的な講義と実践を行った。</p>	<p>入場無料 (要事前申込み)</p>
<p>公立ホール中堅職員 のための芸術経営セ ミナー2012</p> <p>後援：愛知県公立文 化施設協議会/東海 北陸地区公立文化施 設協議会 助成：財団法人地域 創造</p>	<p>①1/19(木) 10:00 ～17:00 会議室</p> <p>参加者 26人</p> <p>②2/17(金) 10:00 ～17:00 会議室</p> <p>参加者 26人</p> <p>③3/15(木) 10:00 ～17:00 会議室</p> <p>参加者 25人</p>	<p>1回目テーマ「貸館事業」 講師/垂水健治(北九州芸術劇 場)、坂口剛(まつもと市民芸術 館)、林丘夫(愛知芸術文化センタ ー)ほか</p> <p>2回目テーマ「共催事業」 講師/北村雅代(キョードー大 阪)ほか</p> <p>3回目テーマ「コピーライト力」 講師/有田憲史(コピーライタ ー)、いせかおり</p> <p>午前中は講義中心、午後はワール ドカフェ方式のワークショップ を行った</p>	<p>入場無料</p>
<p>劇場・音楽堂等スタ ッフ交流研修事業</p> <p>主催：文化庁 (事業実施受託者： 社団法人全国公立 文化施設協会)</p>	<p>1/4(水) ～1/22(日) 三重県文化会館</p>	<p>地域の劇場・音楽堂等において、アートマネジメント及び舞台技術を担当している中堅職員(原則として常勤で実務経験が3年以上の者)を、優れた活動を行っている他の劇場・音楽堂等に派遣し、実務研修を行う事業。当財団からは1名、三重県文化会館に派遣し、演劇制</p>	

		<p>作・ワークショップなどを体験した。</p> <p>三重県文化会館からも、2名の職員が当財団の貸館事業・制作事業を体験した。</p>	
<p>平成 23 年度文化庁 芸術文化活動支援員 派遣事業</p>	<p>① 12/6(火) 13:00～17:00</p> <p>② 12/27(火) 11:00～17:30</p> <p>③ 1/13(金) 13:00～17:30</p> <p>④ 1/24(火) 12:30～15:30</p> <p>会議室・文化活動室</p> <p>参加者</p> <p>① 23人</p> <p>② 10人</p> <p>③ 6人</p> <p>④ 23人</p>	<p>事前に、地域創造が提案する事業評価シートを用いて、職員全員が自己評価を行った。支援員が来館してのワークショップでは、採用年度別にプロパー職員3グループと市派遣職員に分け、それぞれ「財団ミッションについて」「貸館事業について」「未来の春日井市の文化振興を考える」というテーマに沿ってKPT分析を行った。最終日のまとめで、上記グループ別に「Will/Can/Must」による分析を行い、ミッションを明確にした。</p> <p>支援員/柴田英杞</p>	
<p>名古屋芸術大学提携 インターンシップ・プログラム</p>	<p>8/18(木)～ 3/17(土)のうち 39日間</p> <p>受入学生 1人</p>	<p>名古屋芸術大学の学生が1名、インターンとして財団事業を体験。主に、「公立ホール中堅職員のための芸術経営セミナー」の制作業務を行った。</p>	
<p>フロントスタッフ</p>	<p>活動公演数 17回 研修 3日間 登録人数 36人</p>	<p>一般公募による、主に公演時にフロント業務をお手伝いいただくボランティア・スタッフ。公演以外に8回の研修を行い、ブラッシュアップに務めた。</p>	<p>登録無料</p>

(4) 宣伝系事業

事業名称	日時・場所	事業内容	入場料等
広報宣伝事業		<p>より多くの市民に当財団の活動を「認知・理解・支援」していただくため、広告掲載やパブリシティ活動により、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などへの露出を図り、自主事業の宣伝のみならず、当財団そのもののPRを行った。</p>	
<p>情報誌 FORUM PRESS</p>	<p>隔月 10,000部発行</p>	<p>自主事業を中心とした文化芸術情報を誌面で紹介するFORUM PRESS。読み物としての充実を図るため、出演者インタビューや稽古場取材など、読者が興味を持てる情報を多く取り上げた。</p> <p>また、広告枠を拡大、数社と年間契約を結ぶことで安定的な広告収入を得た。</p> <p>『号外FORUM PRESS』を発行し、広報春日井2/15号に挟込み、はじめて市内全戸配布を実施。財団のイメージ戦略上有効であった。</p>	<p>無料配布</p>
<p>ホームページ</p>		<p>ホームページをコミュニケーションツールとして強化するため、昨年度から財団公式ツイッターをスタートし、フォロワー200人を獲得。</p> <p>また、オンラインチケット予約サービスを試行的に導入し、販路の拡大、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	
<p>文化情報プラザ</p>	<p>営業時間 9:00～20:00</p>	<p>映像コンテンツの活用、自主事業の関連展示などで売り場の魅力アップにつながった。</p> <p>また、FORUM PRESSの表紙写真を月替りで展示し、媒体のブランド形成につなげている。</p> <p>チケット販売管理システムを試行的に導入し、業務の効率化を実現した。</p>	

友の会事業	<p>会員数 1,077 人 新規入会者 451 人 更新者 626 人</p> <p>レギュラー会員 897 人</p> <p>ゴールド会員 176 人</p> <p>プラチナ会員 4 人</p>	<p>自主事業のチケット先行予約や割引など、各種優待サービスが受けられる会員制度を平成 14 年度から継続して運営。安定的な自主財源確保につながっている。</p> <p>また、購入金額に応じてポイントを発行し、割引サービスも実施し、リピート率向上を図っている。今年度より会員種別を『個人・ペア・団体会員』から『レギュラー・ゴールド・プラチナ会員』に変更。これによりペア会員の更新手続きの煩雑さを解消し、顧客情報管理がしやすくなった。</p> <p>会員数は過去最高の 1,077 名(ゴールド会員をペア会員としてカウントすると 1,240 名)と、前年と比較し 116 名増加。対前年比 112.1%となった。</p>	<p>年会費</p> <p>レギュラー会員 2,000 円</p> <p>ゴールド会員 3,000 円</p> <p>プラチナ会員 10,000 円</p>
-------	---	---	--

2 受託文化事業

事業名称	日時・場所	事業内容	入場料等
<p>第 31 回春日井市 短詩型文学祭</p>	<p>10/29(土)～ 11/6(日) 9:00～16:30 (最終日は15時まで) ギャラリーラウン ジ、付属室</p> <p>入場者 1,449 人</p> <p>表彰式 11/5(土) 10:00～ 交流アトリウム</p>	<p>市内在住、在勤、在学者を対象と して、文学活動の普及・振興を 図ることを目的とした市民公募の 文学祭。</p> <p>部門/ 一般の部(短歌、俳句、川柳、狂 俳、詩) 小中学生の部(短歌、俳句、川 柳、詩)</p> <p>賞/ 市長賞、財団理事長賞、市議 会議員賞、教育委員会賞、文 化協会賞、秀逸、及び優秀 (小・中学生のみ)、佳作</p> <p>応募数/16,422 点 入賞作品数/862 作品 作品集販売部数/272 冊</p>	<p>出品無料</p> <p>作品集 800 円</p>

3 共催事業

事業名称	日時・場所	事業内容	入場料等
<p>小野道風公奉賛 第 63 回全国書道 展覧会</p> <p>共催/春日井市、春 日井市教育委員 会、小野道風公遺 跡保存会、中日新 聞社</p>	<p>【春日井会場】 10/29(土)～ 11/6(日) 9:00～16:30 (最終日は15時まで) ギャラリー、市庁舎、道風 記念館、観音寺</p> <p>入場者 5,829 人</p> <p>【表彰式】 11/3(木・祝) 10:30～ 春日井市民会館</p> <p>【名古屋会場】 11/15(火)～ 11/20(日) 10:00～18:00 (金曜日は20時まで) 愛知県美術館 ギャラリーJ</p> <p>入場者数 429 人</p>	<p>日本 3 蹟の一人、小野道風の偉業 を讃え開催する全国公募の書道展 覧会。</p> <p>応募数/ 第 1 部(漢字) 172 点 第 2 部(かな) 109 点 第 3 部(近代詩文) 49 点 第 4 部(少字数) 43 点 第 5 部(小品) 16 点 条幅の部 1,012 点 半紙の部 5,592 点</p> <p>展示場所/ ギャラリー：市観光協会賞以上 市庁舎：一般部・学生条幅の部 道風記念館：学生半紙の部 参考作品 観音寺：学生半紙の部</p>	<p>出品料 第 1～4 部 5000 円 第 5 部 3000 円 条幅の部 1300 円 半紙の部 400 円</p> <p>入場無料</p>
<p>春日井市民第九演 奏会</p> <p>主催/春日井市・春 日井市教育委員 会・公益財団法人 かすがい市民文化 財団・春日井市民 第九演奏会実行委 員会</p> <p>共催/春日井市交 響楽団・春日井市 民合唱団</p> <p>後援/中部大学・中 日新聞社</p>	<p>12/4(日) 15:00～16:30 春日井市民会館</p> <p>入場者 993 人</p>	<p>合唱もオーケストラも市民が演じ る官学民連携による“第九”演奏 会。</p> <p>出演者/指揮：チョン・チュン 独唱：二宮咲子(ソプラノ)、三輪 陽子(アルト)、ハ・ソクベ(テノー ル)、キム・ミンスク(バス)</p> <p>参加者/春日井市交響楽団 85 人、 春日井市民第九合唱団 232 人</p>	<p>一般 1,000 円</p>